



2021年2月12日

各位

会社名 株式会社ハイパー
代表者名 取締役社長 玉田 宏一
(コード番号：3054 東証第一部)
問合せ先 取締役 田邊 浩明
(電話：03-6855-8180)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2021年12月期から2023年12月期までの3ヵ年の中期経営計画を策定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の概要

当社グループでは、2020年12月期から始まる中期経営計画を策定し、様々な施策を講じてまいりました。2020年のITサービス事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響により、テレワーク関連などによる需要の底上げが一部で見られたものの、企業活動抑制による投資需要の減少が続いたこともあり、厳しい状況となりました。また、調達においても、CPUなどパソコンの主要部品の供給不足からノートパソコンなど売れ筋商品の調達が難しい状況が続きました。アスクルエージェント事業においては、結果的に緩やかな持ち直しの動きはあったものの、緊急事態宣言下における企業の休業や、在宅勤務の増加による消耗品等のオフィス需要の減少がみられました。以上の要因により、管理費などの経費は計画を下回ったものの、売上高、利益ともに当初の計画値を大幅に下回り、2020年12月期の目標数値を達成することができませんでした。

新たに策定した2021年12月期から2023年12月期までの中期経営計画における数値目標につきましては、ITサービス事業における事業環境として、引き続きコロナ禍であり、企業の投資需要の低迷が予想され、需要の回復の先行きが不透明であることやアスクルエージェント事業においても、需要は回復傾向であるものの、2020年12月期の売上高が横ばいだったことなどを鑑み、売上高と利益の目標値を変更しております。また、利益計画については、引き続き、当社グループにおけるコーポレートガバナンス体制強化のための費用、将来の利益拡大を図るため子会社を含めた新たな事業への先行投資、生産性向上を図るためIT投資を含めた様々な費用等を勘案し、目標数値を変更しております。

当社におきましては、既存事業の収益力の強化に注力するとともに、市場のニーズに呼応した新たな事業を展開し、これら新規事業や新たなサービスの早期収益化の体制を構築、更なる企業価値の向上を実現してまいります。

2. 数値目標

	2021年	2022年	2023年
売上高	24,000百万円	26,000百万円	28,000百万円
営業利益	420百万円	600百万円	800百万円

詳細につきましては、添付の資料をご参照ください。

以上



ハイパーグループ 中期経営計画

2021年12月期～2023年12月期

株式会社ハイパー

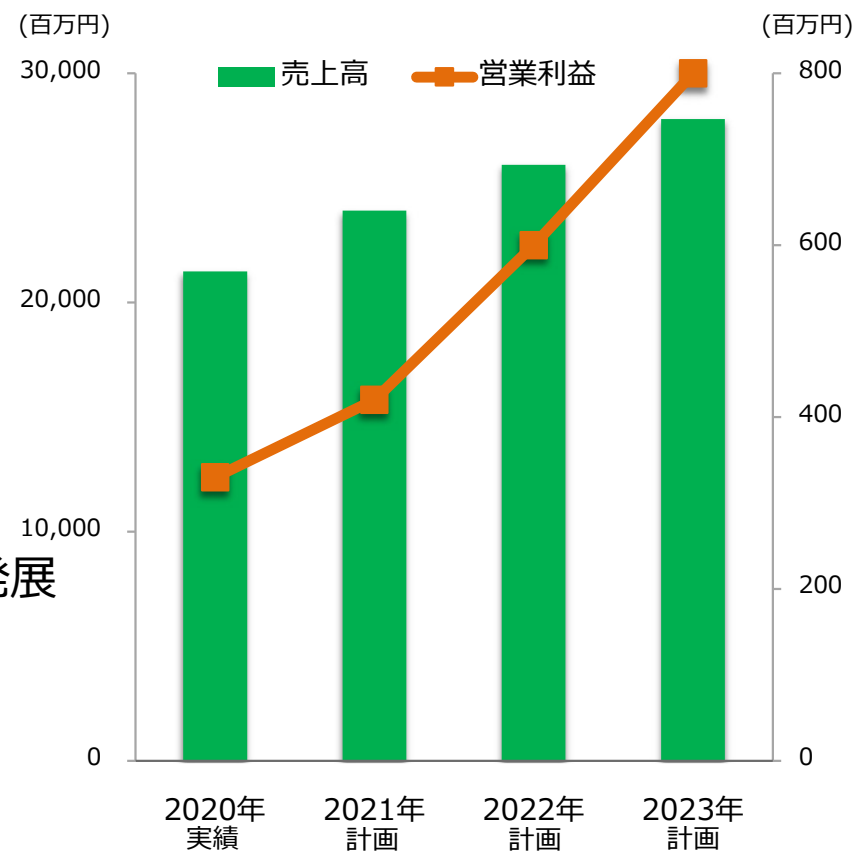
(東証一部：3054)

2023年度

売上高 280億円

営業利益 8億円

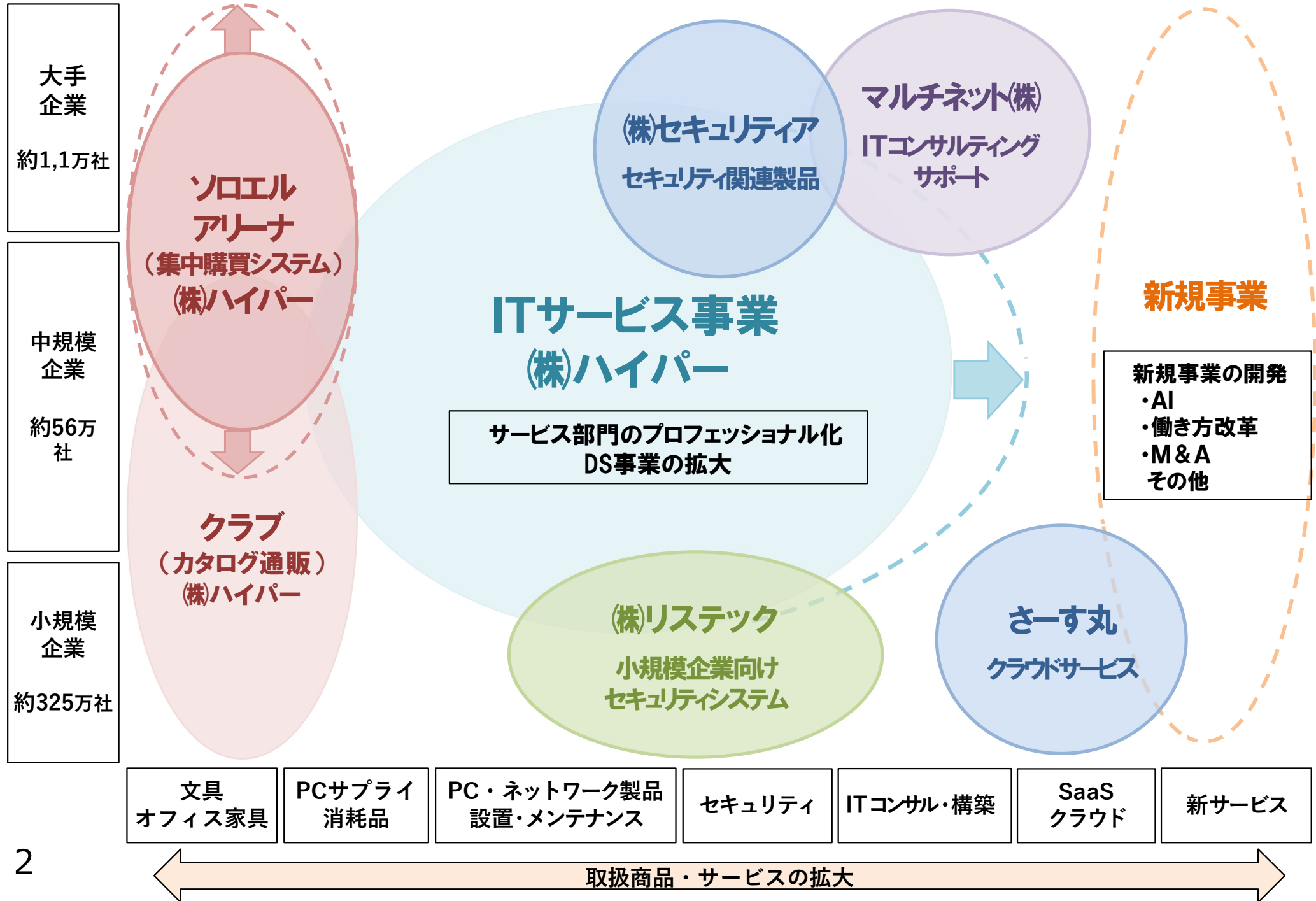
「人とITで日本の会社を元気に」
 を中期ミッションとし、ITを通じて企業の皆様の発展
 をサポートできる会社を目指します。
 ビジネスモデルを発展させ、
 事業規模と共に将来の収益を拡大していきます



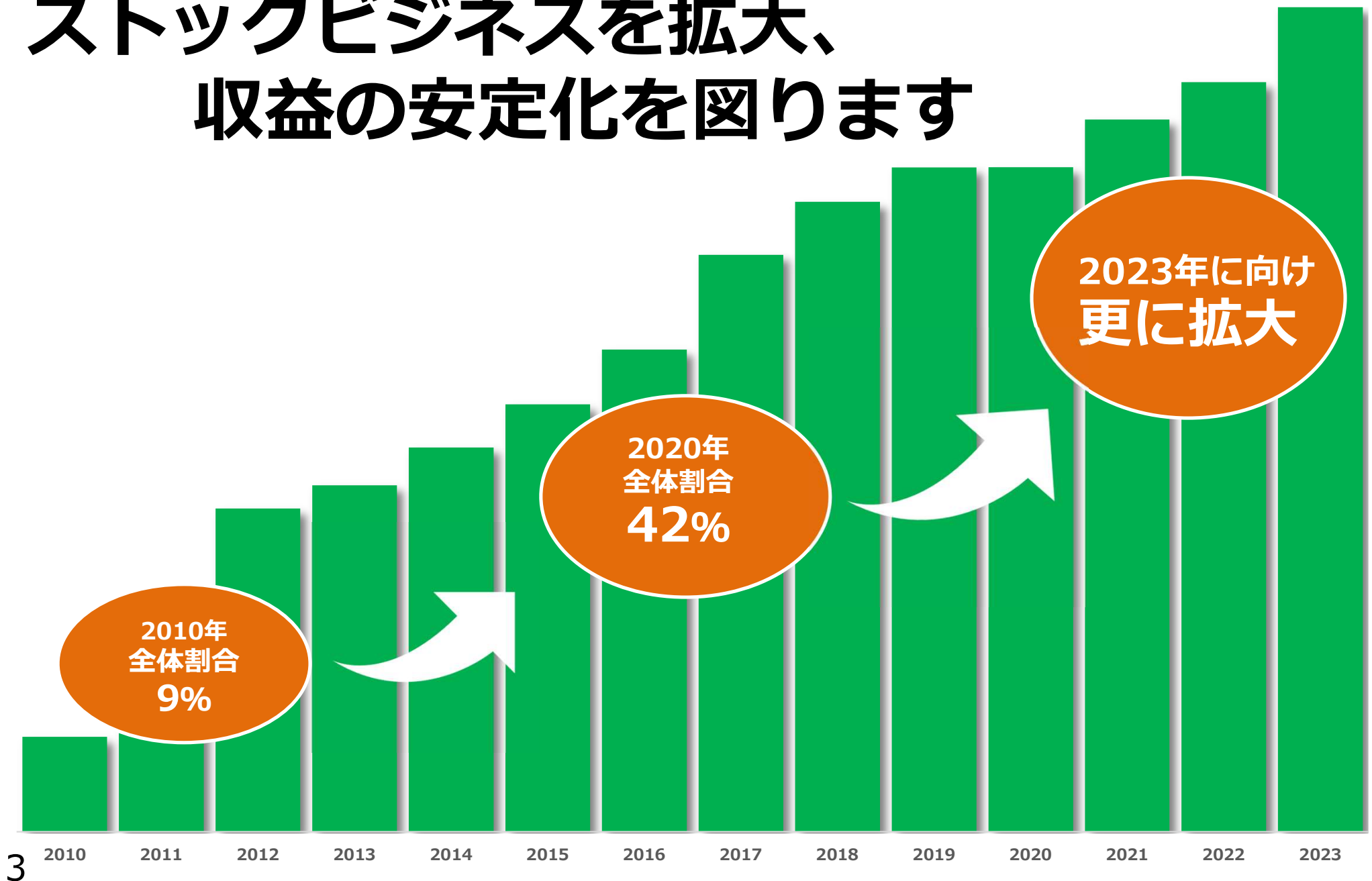
単位：百万円

	2020年 実績	2021年 計画	2022年 計画	2023年 計画
売上高	21,351	24,000	26,000	28,000
営業利益	330	420	600	800

※新収益認識基準（2022年12月期より適用予定）は考慮しておりません。

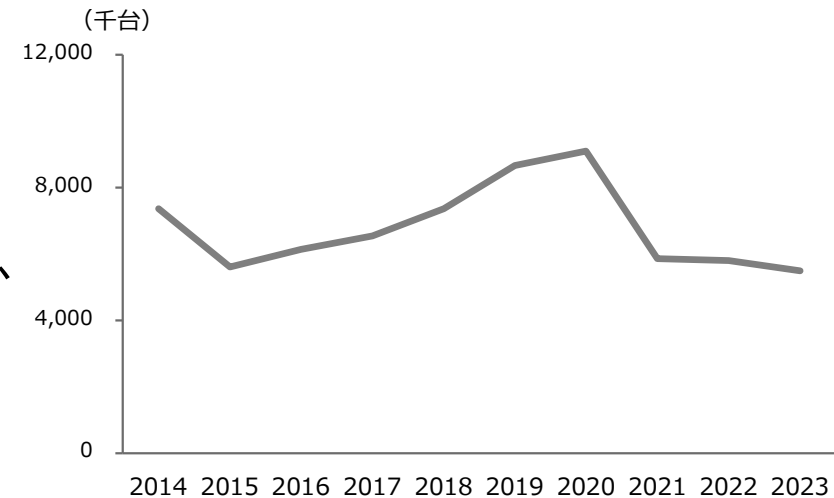


ストックビジネスを拡大、 収益の安定化を図ります



国内パソコン市場

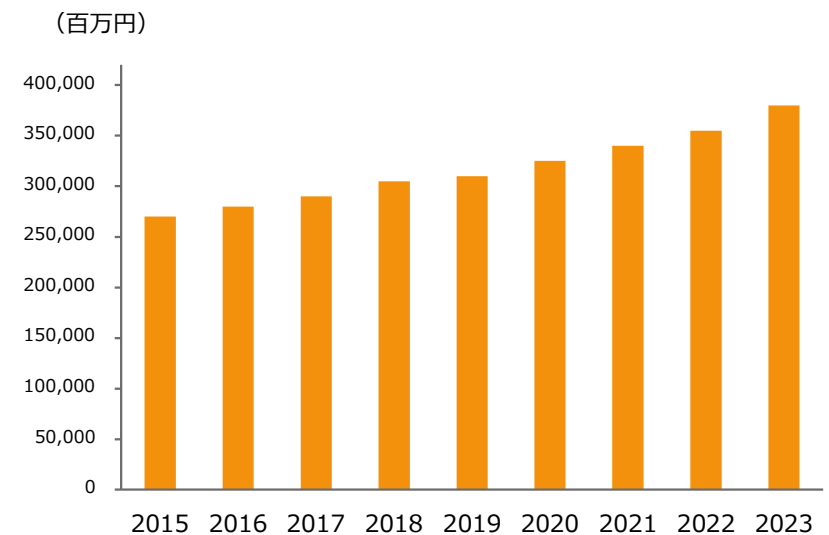
COVID-19の感染拡大による在宅勤務や在宅学習機会の増加による個人向け需要の拡大と、小中学生1人1台端末をめざすGIGAスクール需要により出荷台数は伸びたものの、一時的であり、減少見込み。



国内法人向けパソコン出荷台数 推移予測

国内情報セキュリティ市場

COVID-19の感染拡大によって、国内経済が低迷するものの、複数のマルウェアを組み合わせた高度なサイバー攻撃の被害が継続的に発生していることや、職場勤務から在宅勤務へと大規模なリモートワークへの移行で、在宅勤務で利用するクライアントPCでのマルウェア感染や企業ネットワークへの侵害、クラウドサービスへの侵害など新たなセキュリティリスクへの危機感が高まっている。



国内情報セキュリティ製品市場 推移予測

事業の拡大と生産性の向上

- 専門性追求によるサービスレベルの向上
- リソースの集中によるセキュリティ製品の販売強化
- スtockビジネスに注力した収益の拡大と安定
- 新規営業活動のブラッシュアップと顧客獲得による売上増加
- システム投資によるIT環境の更なる整備と生産性の向上

新規事業の開発

- 企業をトータルサポートする分野への事業展開
- 顧客基盤を活かして企業向けにより広いサービスの提供

企業価値の向上

- 事業戦略を実現するための手段として、M&Aを活用

専門性追求によるサービスレベルの向上

エンドユーザービジネスの発展

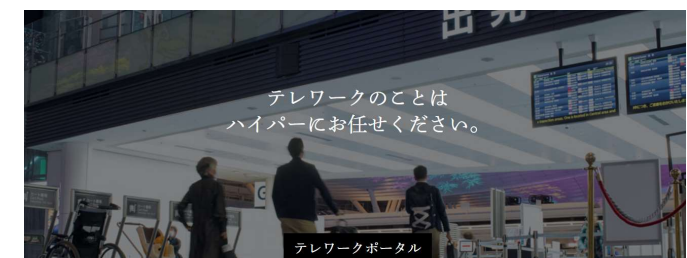
- ITソリューション・オフィスプランニング・セキュリティに特化した専門部隊のサービスレベル向上
- 継続性の高い高付加価値サービスへの集中と発展
- モバイルワークによる営業活動の効率化



サービス&サポート HP
 (<http://www.hyper-ss.jp/>)

企業の課題に対応したサービスの展開

- オンラインマーケティングを活用した企業課題への訴求
- テレワークアドバイザーの設置
- ニューノーマルに対応した製品の導入支援
- Microsoft 365 を中心としたSaaS製品の販売



テレワークポータル
 (<https://hypervoice.jp/hypers-telework-portal/>)

セキュリティ製品の販売を強化 2023年度 売上高20億円を目指します

セキュリティソフトウェア事業の統合による強化

- 顧客基盤とリソースの集中
- 人材育成による専門性の向上
- 顧客課題に合わせたサービス提供と導入支援
- セキュリティトレーニングサービスの提供
- 企業向けセキュリティ支援サービスの提供



小規模企業向けセキュリティシステムの販売

子会社リステックによる施策

- 新規販社の開拓と継続取引の強化
- 広告戦略による見込案件の獲得
- ストックサービスの開発と提供



Security System

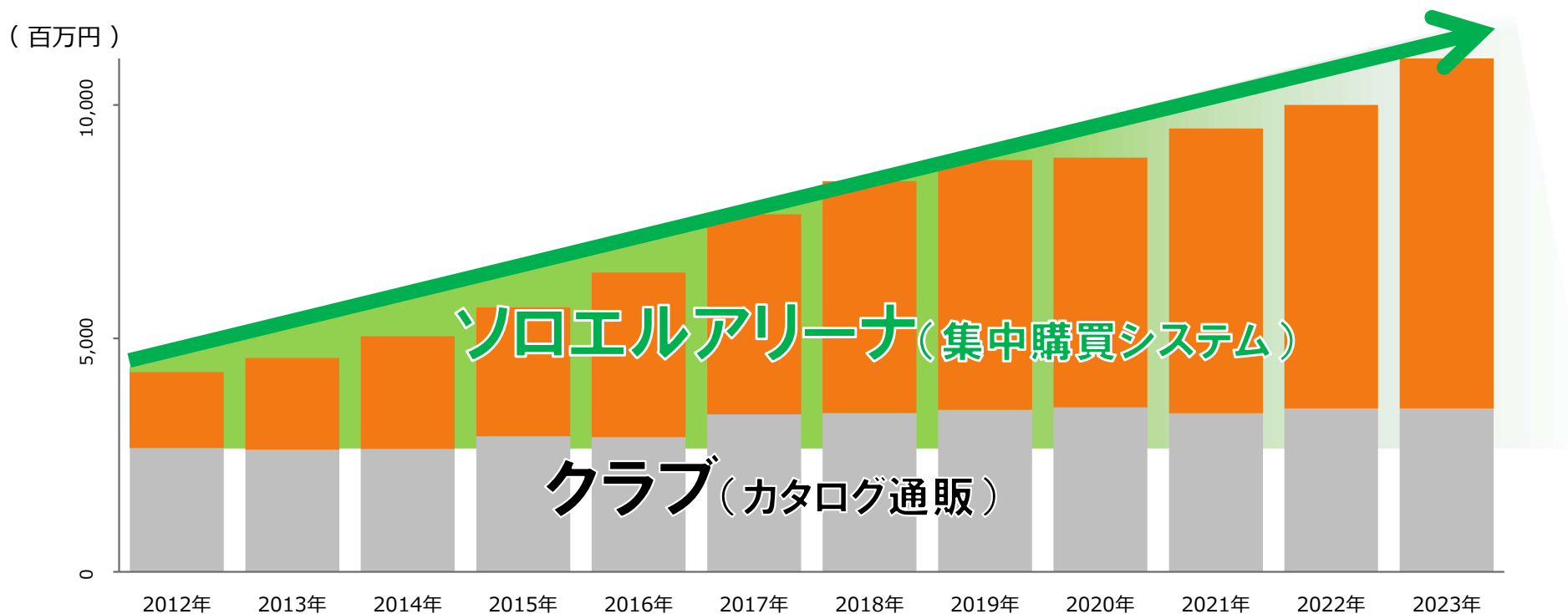
リステック HP

(<http://www.re-stec.co.jp/>)

ソロエルアリーナの拡大による売上の増加 2023年度 売上高110億円を目指します

ソロエルアリーナ拡大および他事業とのシナジー効果の創造

- 中小規模～大手企業の新規開拓
- 人材教育による営業力の強化
- リソースの再配分と成長力の再構築



持続可能な社会を目指す取り組みを継続します

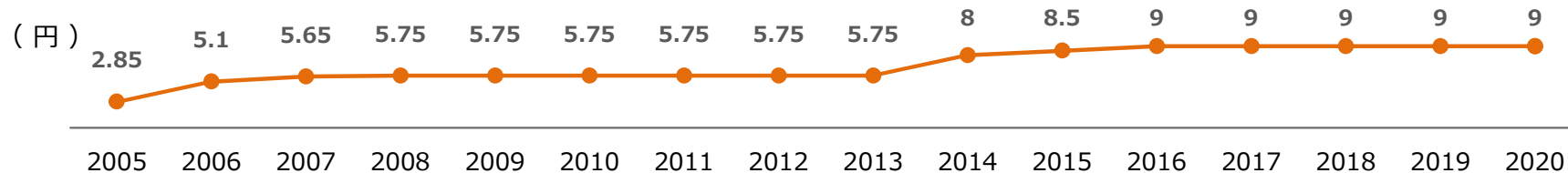
- 株式会社みらくる（連結子会社）
就労移行支援事業及び放課後等デイサービス事業を展開
障がいを持った方の社会適合・経済参加を支援
- ITチャリティー駅伝
「うつ病」「ひきこもり」等の未就労者を1人でも多く社会に
復帰させることを目的としたチャリティーイベントに協賛
- AlonAlonフラワープロジェクト
障がいを持った方々が栽培しているお花
（胡蝶蘭、アレンジフラワー、観葉植物等）をご紹介
- 毛筆名刺
障がい者の所得向上、雇用促進への取り組みの一環として、
重度の知的障がいがある方に氏名部分を毛筆で書いていただいた
名刺を導入

- 安定した利益還元を実現のため、直近5年間の平均EPSを基準に連結配当性向35%を目安に配当を実施
- 株主優待制度
- 企業価値を向上させ、株主利益の最大化を目指す

【配当予想】

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
5年平均EPS	24.77	24.76	27.53	29.11	31.07
1株配当額/年	9	9	9	10	11
配当性向	36.4%	36.4%	32.7%	34.4%	35.4%

【配当実績】



※当社は、2018年7月1日付で株式分割を行っております。
 「配当予想」「配当実績」については、過去の株式分割を考慮して表記しております。

- 本資料は、当社グループの事業の状況および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている業績等に関する見通しは、将来の予測であって、リスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測し得ない経済状況の変化など様々な要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に与える重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供する製品やサービス等に対する需要動向や相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与え得る重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
- 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
- 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

IRに関するお問い合わせ
経営企画室IR担当までお願いいたします

TEL 03-6855-8180 FAX 03-6855-8200

E-Mail IR@hyperpc.co.jp